



全国から多くの患者さんが来院しています。その中でも娘さんの治療の為に千葉に移ってしまつたご家族に驚きました。精神的な症状を抱えて親族や地域からの攻撃が凄くて治療どころではなく、精神病院に閉じ込めろ、家の恥だ、などと言われ続けたようです。

全国幸せ度で福井、富山、石川、鳥取、佐賀、などと因習と保守性が強い県が並んで上位であると、失礼ながらアンケートの内容までも知られてしまうことを恐れる地域性が実態に合わない調査結果を生み出してしまつたのではないかという疑心の方が強くなります。

「神のデザインによる医療」でも書いたのですが、病者・障害者・高齢者などが、その弱点をいたわられるよりもむしろ、蔑まされ攻撃され排除される風土が日本にはあります。患者さんとカウンセリングすると、病であることに罪責感を強く持っている方が非常に多くいることに気がつきます。ある人は、横断歩道を渡っていて飛び込んだきたバイクによってけがをしたら、不注意を皆になじられたそうです。いたわられるべきなのに、責められ詫言しなければならぬとは、どんな思いでしょうか。

最近、老後の計画を練っています。房総の暖かい海岸沿いに長期療養型の宿泊治療施設を作り、患者さんたちが私達夫婦と一緒に畑作業や散歩や読書、そして食事や料理を楽しむ生活です。娘や息子に現在の仕事を委ね、ゆつくりと過ごすことが治療に必要な患者さんと共に、私達は老後を過ごすのです。その本には、「120歳まで生きることを目指して自己管理をしなければ人間として健全な生活を営むことはできない。」と書きました。私は、日本社会に特有人間関係のストレスを取ることと、コミュニケーションの研修が必要なの人々には、このような施設が必要であると考えています。老後をこのような働きに費やすことこそ、人生の本来の目的であると思いますが、皆さんはいかがですか。そのうちに計画を明らかにしていくつもりです。

柏崎久雄

* **感染症の疑いのある方は廊下の入口から**

インフルエンザ、風邪、おたふくかぜ、はしか等が疑われる方は、中央通路わきにあるインターホンでご連絡ください。院内感染を避けるためご協力ください。待合室も病態別に隔離して診察します。

* **インフルエンザのワクチン追加購入しました。**

チメロサル無しのワクチンを用意しております。予約なしで、朝9時までと午後の診療時間帯のみ受付です。詳しくはお問合せ下さい。

* **21日(水)院長が4ヶ月健診で外出の為、午後の**

診療は3時からとなります。

* **麻疹・風疹の予防接種が来年の3月までは高校2年**

生も対象になりました。日本脳炎の予防接種が、4歳〜16歳(接種を受ける機会を逸した者)までとなりました。子宮頸がんワクチンの公費接種は、来年度以降も継続されるか未定となっております。1回目がお済みでない方はお早めにご予約下さい。その他の予防接種も含め詳細は受付に御相談下さい。

* **ビタミンC点滴療法について**

ガン治療の選択肢として、体調維持と治療に副作用の無い高濃度ビタミンC点滴療法を行っています。

* **「聖書を読む会」12月13日(火)2時〜2時20分**

「回復の会」13日11時から催されます。

* **「神のデザインによる医療」年内は定価1260円↓**

1200円(税込) ヨーゼフにて販売しております。

* **年末年始の休診**

12月29日(木)〜1月5日(木)まで休診です。

〈胎児の成長と栄養〉

A. 母体の健康と胎児への影響

妊娠中の母体の栄養状態は胎児の成長に大きく影響します。妊娠には健康な母体が大事ですが、妊娠前からの栄養状態が最も大切です。10代から20代の女性のスリム・ダイエット志向が強く、栄養不足が続くと次のようなこととなります。

- 1 胎児の発育不全。
- 2 出産後の発育不全。
- 3 妊娠・出産・出産後のトラブルが起きやすい。
- 4 出産後の体調不良が長引く。

最近、「妊娠中の体重増加は少ないことが好ましく、小さく産んで大きく育てる」と良いとも言われますが、栄養不足の母親から産まれた子供は体重が非常に小さい場合が多いです。特に頭囲が小さいと脳の神経細胞が少ないことがあり、神経細胞の増加(発達)できる数に限度があると考えられます。

B. 妊娠中になりやすい症状

1. つわり

妊娠 4～8週にみられ、吐気、嘔吐、食欲不振、嗜好の変化が早朝空腹時に多く起こります。この時期の胎児は20～100gですが細胞分裂が盛んに行なわれているため栄養不足があると胎児への影響は大きくなります。

空腹でいるとつわりを強く感じるので、口に合うものを少しずつ食べましょう。つわりの原因は、未だ医学的には十分に解明されていません。ただ、タンパク質代謝に不可欠なビタミンB6の多い食品の摂取でつわり症状が軽減しています。

2. 妊娠中毒症

妊娠後半期に起こりやすい原因不明の妊娠不応症です。高血圧、むくみ、タンパク尿、重症になると子癇(母体の痙攣発作、昏睡)を起こし胎児の発育不全など母子共に危険な状態になります。

肥満があると発症率が高く、摂取エネルギー過剰で症状が悪化するため、肥満改善のためタンパク質を中心とした食事をし、甘い物は控え過剰なエネルギーを制限することが大切です。高血圧予防の為、塩分を制限し、カルシウムを摂取することも必要です。

3. 貧血

妊娠中は胎児への造血の他、全身の血液量が多くなり鉄の必要が高まります。また出産時の出血を考慮すると、妊娠前から授乳期までの鉄の補給が非常に重要です。母親が貧血でも胎児は成長に必要な鉄を優先的に胎児内に取り込む機能をもっています。それほど胎児の成長には鉄が重要で、母体を犠牲にしてまで鉄を確保します。そのため産後の体調不良は鉄不足による症状が多いです。髪が抜けやすい、顔にしみができる、疲れが取れない、爪が割れやすい、イライラする、体重減少などが主な症状です。

C. 胎児に必要な栄養

1. カルシウム

妊娠初期から胎児は骨や歯の成長のためカルシウムを必要としています(最初の30週間に胎児は150mg/日、出産近くでは350mg/日のカルシウムが必要)。妊娠中、十分にカルシウムを摂取していないと胎児の骨・歯の成長の妨げになります。不足すると母親の骨・歯などから

カルシウムを補うので母親の骨・歯がもろくなります。身体にはカルシウムの蓄積・吸収・排泄の調節機能があるため、母親がカルシウムを過剰摂取しても排泄されるので心配ありません。カルシウム代謝は身体の調節機能に任せた方が良く考えられます。

2. 鉄

鉄は神経組織の発達、造血に必要なため、不足すると子供の情緒の発育、病気に対する抵抗力に影響が出ます。また貧血があると分娩時の異常出血や産後の回復に遅れが見られます。極端な鉄欠乏性貧血の場合、心臓中隔欠損症(心臓に穴があく)、アトピー性皮膚炎、喘息の発症リスクが高まります。

3. 葉酸

2000年以降、先天性異常の二分脊椎症や無脳症が増加しています。これはビタミンB12と葉酸(1日400 μ g以上)の補給で低減できると報告があります。

D. 妊娠中に避けたいこと

1. 飲酒

顔面の発達異常、小頭症(頭部・脳が異常に小さい)、発達障害、などの先天性異常児のリスクが高まります。また、成長と共に精神遅滞や問題行動などを起こしやすくなるため、妊娠中のアルコールは厳禁です。飲酒により亜鉛やマグネシウムも尿中に排出されます。出産後も、母親がお酒を飲むと、母乳中のアルコール濃度は最大で母体の血中アルコール濃度と同程度上昇すると言われています。この母乳を乳児が飲めば、乳児もアルコールを飲んだこととなります。

2. タバコ

妊娠中にタバコを吸うと、胎児が発育不全となり、低体重の子供が産まれる傾向があります。ニコチンは胎盤内の血流を低下させ、母体から胎児への血液量が減ります。血液中のヘモグロビンがタバコに含まれる一酸化炭素と結合し、酸素と結合できない赤血球が増えるため、胎児が酸欠状態になりやすくエネルギーも不足するので発育障害が起こりがちになります。妊婦は副流煙の影響も受けるので、周囲の理解も必要です。

3. 鎮痛催眠剤、ホルモン剤、抗ガン剤、抗けいれん剤

これらの服用は催奇形性が高いとされています。その他、漢方薬、ステロイド剤などは自分の判断で服用せず医師への相談が必要です。便秘薬は子宮の収縮を強めて流産や早産の危険があるため、他の薬と同様に医師の指導のもと使用しましょう。

4. 妊娠中の梅毒、風しん、トキソプラズマ感染

これらは流・早産の原因になるほか先天性異常児の可能性もあります。淋病・クラミジアなどの性感染は自覚症状がありませんが、卵管炎を起こし不妊症の原因になることがあるので注意が必要です。

5. 放射能被曝

着床後間もなくの被曝は胎内死亡、妊娠初期(器官が形成される時期)の被曝は奇形発生の確率が高くなります。放射能同位元素の体内吸収による内部被曝は、細胞分裂の早い胎児には遺伝子の異常を起こすので非常に危険です。放射能は、距離の2乗に比例して影響が出るので、体内に入った場合の危険性は外部被曝の数万倍以上になります。

院長と事務長の新刊です。今月一杯、消費税分を値引して販売しております。

神は私達一人ひとりの健康デザインを描かれた・・・

神のデザインによる医療

遺伝子にはそのヒトの完全な健康の姿が記されています。それを損なうのが対外から侵入する病原菌や有害物質です。今は特に放射線ですが、身体にはそれらに対抗するシステムが備えられています。その免疫系を保持するための秘訣がこの本には記されています。120歳まで生きる為に是非ご精読下さい。



柏崎良子
柏崎久雄 共著

2011年11月23日発行
定価：1200円（+税）
出版：株式会社ヨーゼフ

長年の治療を通じて、知らずに私達の生活の中に入り込んでいる有害なものが、現代人の身体を痛め付けていることを知りました。今回の福島第一原発事故による放射能汚染は、その最たるものです。幼子や障害者そして高齢者の方々などの弱者が、その入り込んでいる有害な物の被害者になることが常であります。

また、この本で重点を置いたのが腸内環境です。乳児から腸内環境に注目することが、アトピーや自閉症そして精神状態の安定にもつながります。尿の有機酸検査で代謝機能などを確認しながら、腸内環境の改善をし、アレルギーや精神状態の治療を行った先験的な医療機関としての成果も発表しています。

医学としては、対症療法の弊害がわかってきて、私達の分子整合栄養医学が健全であると思われませんが、宗教や生き方としても、問題に対処することばかりに目を留めると、健全な在り方を失ってしまうようなこともあるかと思えます。この本を読みながら、そのようなことも振り返っていただければ幸いです。

《 診 療 時 間 》

月曜～金曜（午前8時30分～12時10分、午後2時30分～5時30分）

土曜（午前8時30分～12時10分、午後2時～4時）

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- 各種健康保険取扱機関
- 介護保険取扱機関
- 結核予防法指定機関
- 身体障害者認定医
- 各種健康診断
- 生活保護指定機関
- 特定疾患取扱機関
- 自立支援医療機関
- 小中台小学校校医
- 栄養療法(分子整合医学)



（携帯サイトへ）